

案内

青山学院フィリピン訪問プログラム報告会

青山キャンパス

日時 6月15日(月) 12時35分～13時10分
場所 17411教室

相模原キャンパス

日時 6月17日(水) 12時35分～13時10分
場所 ウェスレー・チャペル ラウンジ

オーストラリア・クリスチャンファミリー・ホームステイ・プログラム 説明会

青山キャンパス

日時 6月18日(木) 12時40分～13時10分
場所 17304教室

相模原キャンパス

日時 6月24日(水) 12時40分～13時10分
場所 B304教室

ランチタイム・コンサート

日時 6月19日(金) 12時40分～13時10分
場所 相模原キャンパス ウェスレー・チャペル
演奏 坂戸 真美(本学オルガニスト)

日時 6月24日(水) 12時40分～13時10分
場所 青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂
演奏 大学ハンドベル・クワイア

清里サマー・カレッジのお知らせ

日時 8月3日(月)～5日(水) 2泊3日
場所 キープ自然学校(山梨県北杜市高根町清里)
特別講師 エイブラハム & さゆり キスト岡崎(日本キリスト教団協力宣教師)
参加費 13,000円(往復貸切バス代込)
テーマ 「Spice up yourself ～自分の味 仲間の味～」

このプログラムは、都会を離れた静かな自然の中で、学生と教員が生活を共にしながら、一つの主題のもとに講演を聞き、聖書・讃美歌に親しみ、討論することを通して、自らの生き方を深く考える青山学院ならではの貴重なプログラムです。

詳細はパンフレットをご覧ください。

青山学院大学礼拝週報

2015. 6. 15.
No. 11

神の国節第3週

青山学院の歩み [10]

つ だ せん
津 田 仙

ドーラ・E・スクーンメーカー女史が、1874(明治7)年11月16日に青山学院の源流である「女子小学校」を創始するにあたって、これを成功に導いた最大の功労者が津田仙でした。津田は佐倉藩家臣の家に生まれた武人でしたが、新時代の息吹に触れてオランダ語と英語を学び、わが国の農事改良のために生涯を捧げました。わが国最初の農学校創立や『農業雑誌』の創刊のほか、アスパラガスやストロベリーの日本への移植栽培、その他数々の功績を残しています。彼は次女の梅子(現津田塾大学創立者)を通してメソジスト教会の宣教師を知るようになり、1875(明治8)年1月3日、妻の初と共にソーパー宣教師より受洗しました。彼は青山学院の基礎作りにはいかなる協力も惜しみませんでした。「女子小学校」の最初の生徒7名は、彼の妻と長女、長男、次男、それに妻の友人と姪と女中さんであったと伝えられています。



今年度の主題聖句

主に望みをおく人は新たな力を得
鷲のように翼を張って上る。
走っても弱ることなく、歩いても疲れない。
(イザヤ書 第40章31節)